

河川環境の整備・保全の取組み

－河川法改正後の取組みの検証と今後の在り方－

政策の効果等

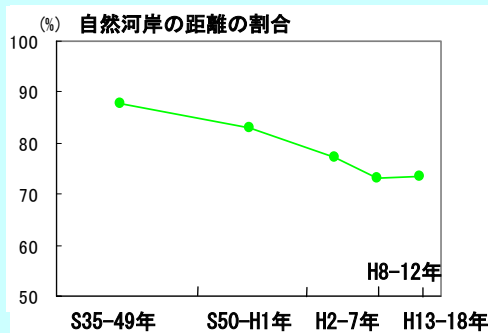
【対象施策】平成9年の河川法改正以降、取組みが強化された、または新たに開始された施策を中心に河川環境の整備と保全に関する枠組み全体の評価を行った。

【評価の視点】河川環境の整備と保全に関する個別の施策を「生物の生息・生育・繁殖環境の保全と整備」、「魅力ある水辺空間の整備と保全」、「河川利用・生活環境に配慮した水量・水質の改善」及び「地域・市民との連携・協働」の4つの小分類(施策群)に分類し評価を実施した上で、それらを取りまとめて総合的な評価を行った。

【評価の例】

①生物の生息・生育・繁殖環境の保全と整備

□分析例



全国の直轄水系のうち31水系を対象として、航空写真から自然河岸の分布状況の変化を調査。

□成果

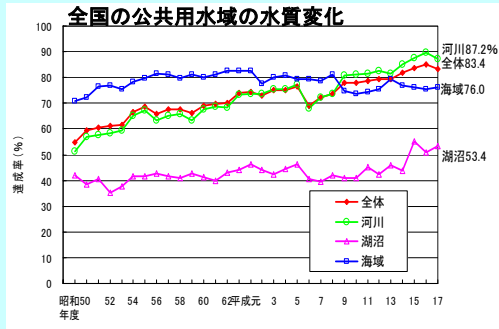
- ・多自然川づくりや自然再生事業の全国的展開 等

□課題

- ・本支川間や流域との間での連続性の確保
- ・河川環境の目標像の明確化と定量的な評価 等

③河川利用・生活環境に配慮した水質・水量の改善

□分析例



公共用水域の水質基準達成率の経年変化を整理

□成果

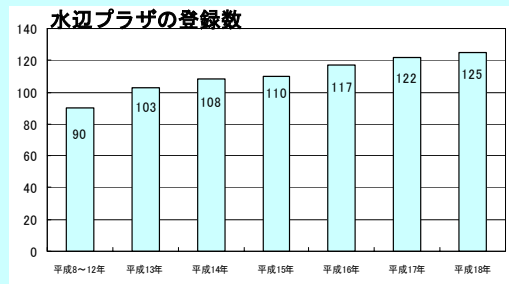
- ・清流ルネッサンスや環境用水導入等による水環境の改善 等

□課題

- ・依然として水質の悪い湖沼等の水質改善
- ・河川環境を考慮した流況変動のあり方等の検討 等

②魅力ある水辺空間の整備と保全

□分析例



水辺空間整備事業の認定・登録数の推移を整理。

□成果

- ・水辺プラザ、清流ルネッサンス等の取組みによる水辺の魅力の向上、地域の賑わいの場等の形成 等

□課題

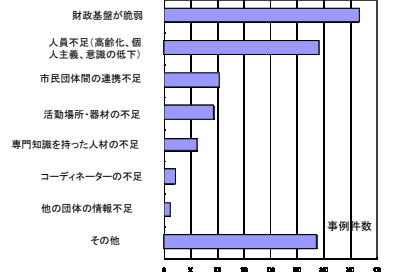
- ・河川やダム湖の潜在的な魅力の利活用による地域活性化に資する取組みの更なる推進
- ・自然環境や河川整備の状況に応じた河川環境管理基本計画の見直し 等

④地域・市民との連携・協働

□分析例

市民団体が川や水に関連して活動を行うにあたって抱える課題をアンケート調査により整理。

市民団体が抱える課題



□成果

- ・市民団体との多岐に渡る連携の継続的实施 等

□課題

- ・連携を円滑に進めるための情報共有の促進
- ・市民団体等による環境教育活動の支援 等

主な課題

- 河川法の改正後、様々な取り組みが全国各地で多面的に実施され、個々には課題を有するものの、一定の成果を得ている。
- しかし、全国的な実施状況や水系全体を見渡した場合には、拠点のあるいは個別的にならざるを得ない面があった。
- 河川環境全体としては改善が進んでいるといえる状況にはなく、外来種の広がりに見られるように、取り組んではいらぬものの未解決の課題もある。
- 取り組んできた施策に関しても、技術的な課題は多く存在し、モニタリング結果の施策への反映など今後取組を本格化させるべき分野もある。
- 河川環境の評価そのものは科学的・技術的に大きな課題として残されている。
- 河川環境管理基本計画におけるゾーニングに見られるように、河川敷等の空間の利用と自然環境の保全がトレードオフの関係になる場合がある。
- 水環境、空間利用、自然環境の保全など、時代の移り変わりとともに社会や地域の要請は変化してきており、多様な要請を調整し具体化していくためには、河川管理者として基本的な視点を定めつつ、地域にふさわしい河川環境を実現することも求められる。

今後の対応方針

評価から得られた
今後取り組むべきポイント

今後の方向性

● 生物の生息・生育・繁殖環境、まちづくり、水環境、地域・市民との協働のすべての視点において、かつてあったつながりを取り戻し、川を軸として**空間**を“つなぐ”、取り組みを**時間的に**“つなぐ”、あるいは川に関係する**様々な主体**を“つなぐ”ことの重要性が見い出される。

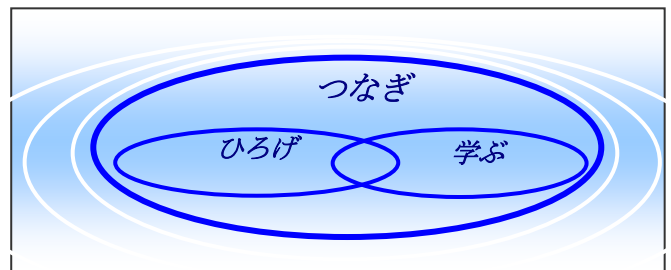
● 空間の管理、流況の管理、関係者の調整等、河川環境の施策を管理面に展開し、さらにその管理を**点から線、面へと**“ひろげる”ことが必要である。

● 目標とする河川環境の姿を明らかにし、様々な調査・研究、技術開発を推進するなど、河川環境に関する科学・技術の向上を図るとともに、河川環境に関わる人材育成や情報共有を進めるなど、**川から様々なことを**“学ぶ”ことが必要である。

● **損なわれたつながりを徹底的に「つなぐ」ことが、河川環境改善の骨格となる。**
・空間をつなぐ
・時間をつなぐ
・川、地域、人をつなぐ

● “つなぐ”取組みを強化・推進していくために、拠点から河川区間（線）そして水系（面）へと河川環境を管理する視点を“ひろげる”

● “つなぐ”取組みを進め“ひろげる”ため川本来の自然環境とともに、川の歴史や文化、人間との関わりなどをさらに“学ぶ”



つなぎ、ひろげ、学ぶ取組みのイメージ